

支援事例

福井の繊維技術や 機関連携を支援し、 天空のいちご狩りを実現

明城ファーム株式会社

| | |
|--------|----------------------|
| 企業代表者名 | 明城 義和 |
| 所在地 | 越前市 |
| 業種 | 農業 |
| 事業内容 | 苺、トマト等栽培、加工品販売、飲食店経営 |

活用事業名 令和2年度 将来の福井をけん引する技術開発支援事業（FOIP プロジェクト支援）

事業活用までの経緯

同社は、越前市においてトマト等の生産から加工販売までを展開する中小企業。トマトの市場性・将来性に危機感を覚え、苺生産へと変更を希望していた。しかし、ロックウールと呼ばれる栽培用培地導入がコスト的に厳しく、事業性等についてFOIP（ふくい産業支援センターが相談窓口）に相談。県の支援制度を活用した実証実験に取り組むこととなり、FOIPが産学官金の連携体の構築を支援し、県の技術開発補助金（将来のふきを牽引する技術開発支援事業）に提案・採択された。

活用内容

「福井県の繊維技術を応用した低コスト培地での苺生産実証実験」を開発テーマとして研究を実施し、実証実験を経て同社の苺培地栽培の本格導入を行った。

- ・前田工織(株)製の繊維を栽培用のロックウール培地に採用し、排水性の向上と培地の低コスト化に成功。
- ・グラスITフィールド(株)製のIoTモニタリングシステムを導入。
- ・繊維材料の活用による排水性向上（県工業技術センター調べ）。カリウム、ビタミンCの量が従来方法よりも良く、味覚的にも有利な結果となる（仁愛大学調べ）。

といった研究成果を得て、2023年2月、福井市中心部での百貨店屋上にて都市型いちご収穫体験「ふくい天空のいちご狩り」を体験型の観光コンテンツとして提案。

多くのテレビ・新聞に取り上げられ、県内外からの反響も大きく、市街地中心部での新たな観光コンテンツの提案につながっている。



利用された企業様の声

代表取締役 明城 義和 氏

2021年にはメッセ名古屋における福井県ブースにて弊社の取組みを広報できました。今回の天空のいちご狩りプロジェクトや、最近では事業再構築補助金の獲得に成功するなど、FOIPに相談することで多方面の支援やご協力を頂けています。今後も課題解決に向けて、相談させていただきます。